

栗原地域だより

第 8 号

平成 25 年 7 月 1 日発行

目 次

- 田んぼアート（瀬峰泉谷）開幕！ p1
- 栗原は本格的な観光シーズンに突入！ p2
- 地元食材をおいしく味わおう！ p2
- 工事現場での合板による敷板利用実証試験が行われました p3
- ため池災害復旧工事が無事完成しました！ p4
- 栗原イベント情報（7月・8月） p5
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p6

一迫ゆり園



田んぼアート（瀬峰泉谷）開幕！

～今年の図柄はむすび丸です！～

農業振興部

6月1日に、栗原市瀬峰地区泉谷の水田1.2ヘクタール(JR東北本線沿い)で、田んぼアートの田植えが行われました。(主催：瀬峰地区循環型農業推進会議)

この田んぼアートは、「安全・安心・おいしい！瀬峰農場＝循環型農場のまち せみね」を合言葉に、良質堆肥を使った環境にやさしい栽培方法による農産物「エコ・せみね」ブランドの認知度を高め、循環型農業*システムの取組を広くPRする目的で平成20年度から実施してきました。

6年目となる今年は、宮城県観光PRキャラクターの「むすび丸」の図柄と、「エコ・せみね」の文字を田んぼに描きました。図案の作成や測量・マーキングは、事前に宮城県小牛田農林高等学校農業技術科2年生37名が行いました。田植えには地域住



小牛田農林高等学校の皆さん



田植え後の集合写真

民や子どもたち約100名が参加し、6つの品種を植えました。

7月中旬から8月いっぱいまで、葉が緑、紫、黄、橙、白になり、田んぼにアートが浮かび上がります。



田植えの様子

当事務所では、「耕畜連携による循環型農業」、「農産物のブランド化」の取組を、栗原市全体に波及させていきたいと考えています。

* 循環型農業とは 家畜の排泄物や家庭から出た生ゴミなどを使用して資源を循環させる農業。

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel: 0228-22-9437

栗原は本格的な観光シーズンに突入！

～仙台・宮城デスティネーションキャンペーン 好評のうちに終了～ 地方振興部

仙台・宮城 DC*は、4月～6月の3ヶ月間行われ、盛況のうちに終了しました。

今回は、これから本格的な観光シーズンを迎える栗原に、仙台・宮城 DC を契機としてたくさんの方に来ていただくため、活動している団体の取組を紹介します。

①仙台駅で「栗原の魅力発信キャンペーン」を開催

(主催：一般社団法人栗原市観光物産協会)

6月4日に、仙台駅コンコース内で、「仙台駅から22分で行ける栗原市」をキャッチフレーズに、栗原の見どころ、食べどころをPRしました。細倉マインパークのマスコット「マイン坊や」と宮城県観光PRキャラクター「むすび丸」も参加し、会場を盛り上げ、栗駒山のトレッキングや温泉、秘湯花山そばの里を大いにPRしてくれました。



浴衣姿や登山スタイルで栗原の観光をPR

②栗原市内の「笑顔でおもてなし隊」活動継続中！

栗原市内では、観光に携わる方々を中心に、7つの団体が「笑顔でおもてなし隊」を結成し、栗原の良さを伝え、また栗原に足を運んでいただくために「笑顔で」お客様をおもてなしする活動をしています。この「笑顔でおもてなし隊」は、「笑顔咲くたび伊達なたび」のピンクの缶バッジを付けているのが目印です。各団体の活動の詳細は、地方振興部HP (<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khsgsin-e/>) で紹介しています。



缶バッジ



50名が活動する「ぐるっとゆるっと栗原」

* DC (デスティネーションキャンペーン) とは

地方自治体・地元観光業者とJRグループとが連携して行う、観光キャンペーン。宮城県では、平成24年4月から6月に開催されました。

■お問い合わせ

地方振興部 商工・振興班 Tel: 0228-22-2195

地元食材でおいしく味わおう！

～栗原地域の地産地消推進店がどんどん増えています～

地方振興部

宮城県では、地産地消に積極的に取り組んでいる飲食店を「食材王国みやぎ地産地消推進店」として登録し、多くの人に知ってもらう活動を行っています。栗原地域では、オリジナリティあふれるメニューを提供している地産地消推進店がどんどん増えており、今回はその中からいくつかの店舗を紹介します。

① 会席料理 丸勝

地元の一迫商業高校と開発した究極の地産地消弁当「栗原ふれあい弁当」や「栗原にひとめぼれ御前」が楽しめるお店です。地産地消をコンセプトとした会席コース料理もあります。

(栗原市一迫真坂字町東 181-2 Tel : 0228-52-2028)



地産地消推進店ロゴ

② 中華料理 白果楼

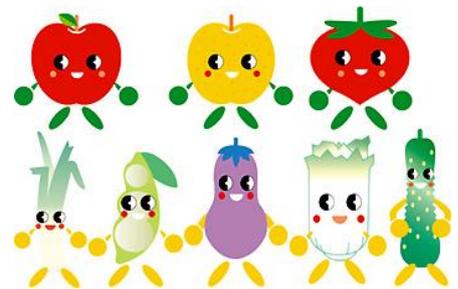
仙台牛、もち豚、椎茸、わかめ、フカヒシなどの様々な地元食材が中華料理で楽しめます。仙台牛を使用した「牛ギョーザ」はこの店自慢の逸品です。

(栗原市築館青野 1-30 Tel : 0228-23-3470)

③ 居食家 あじあ

昼は食堂、夜は居酒屋のお店です。「一枚肉の鳥からあげ」など、地元の米や野菜、肉を使用した居酒屋メニューが楽しめます。

(栗原市瀬峰下藤沢 160-1 Tel : 0228-38-2220)



食材王国みやぎキャラクター

ぜひ地産地消推進店に足を運んでいただき、地元食材をおいしく味わってください。

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel : 0228-22-2195

工事現場での合板による敷板利用実証試験が行われました

～敷鉄板と同様に使え、低コストです～

林業振興部

工事現場で用いられる敷板は通常、鉄板（通称「敷鉄板」）、ゴム製敷板（ゴムマット）、樹脂製敷板（フラ敷板）で、合板（ベニヤ板）の使用実績はほとんどありません。

そこで、東京合板工業組合が「地域木材産業等連携支援事業」（林野庁補助事業）により、当事務所の協力のもと、県内の合板工場で製造した建築用合板を、栗原市内の治山工事現場で敷板として利用する実証実験を行いました。

この合板は、建築現場で一般的に使用されている製品で、寸法は 1,820 ミリメートル×910 ミリメートル、厚さは 24 ミリメートル・28 ミリメートルの 2 種類です。表面が滑らかで平たく、変形しにくく、重量が小さいという特性を持っており、使用時に移動してしまう恐れがあることから、アンカーやチェーンにより固定しました。

トラック等の工事用車両が土砂を満載し、約 2 ヶ月間に 346 回往復した結果、次の 3 点が確認されました。

- ① 使用後の合板に接着層のはがれ・ふくれ等は見られず、敷板として使用可能な性能を有する。
- ② 合板は再利用が可能であり、また、敷鉄板の約 53 パーセント程度のコストで済み、経済的である。
- ③ トラック等の旋回場所で使用した一部の合板に移動・折損が発生していたことから、旋回箇所での使用には検討を要する。

今後、検討課題が解決されるとともに、被災した石巻の合板工場で製造される合板が、敷板として広く使用されることで、震災復興の促進に寄与することが期待されます。



設置直後の試走の様子



使用中の様子



PR用パンフレット

■お問い合わせ 林業振興部 森林整備班 Tel: 0228-22-2391

ため池災害復旧工事が無事完成しました！ ～東日本大震災から2年～

農業農村整備部

東日本大震災で、栗原市高清水の3つのため池・ダム（下手取2号堤ため池、新堤ため池、宿の沢ダム）では、堤体の亀裂、護岸工の破損などが発生しました。当事務所では、ため池の管理者である栗原市、小山田川沿岸土地改良区から要請を受け、工事発注から現場監督までの災害復旧工事の技術支援を行いました。

下手取2号堤ため池は、堤体の亀裂（深いところでは1メートル以上）を重機により掘削・盛土し、破損したゴムシート張護岸を撤去した上で、新しいゴムシートで堤体を復旧しました。

新堤ため池は、地震で破損した平板ブロック護岸を撤去し、ブロックマットにより護岸を復旧しました。この製品はブロックが階段状のため、誤ってため池に落ちた場合でも、岸に上がりやすくなっており、安全性に配慮しています。

宿の沢ダムは、地震で崩れた法面（人工的な斜面）3箇所を重機により掘削・盛土し、布製型枠護岸で復旧しました。

これらの復旧工事は今年4月に終了し、下流水田への農業用水の供給を担っています。

東日本大震災から2年4ヶ月が経過し、当事務所管内のため池は復旧しましたが、沿岸部では今なお災害復旧工事を全力で実施しています。これからも災害復旧工事の早期完成に向けて、当部として可能な支援に取り組んでいきます。



下手取2号堤ため池



新堤ため池

■お問い合わせ 農業農村整備部 Tel: 0228-22-2467

◆7月イベント一覧

日にち	イベント名	地域	日にち	イベント名	地域
7/5（金） ～10（水）	刑務所作業製品展示即売会 キャピック展	志波姫	7/14（日） ～15（月）	第21回牛湊溪谷釣り大会	一迫
7/7（日）	第26回あやめ祭り神楽大会	一迫	7/21（日）	築館朝市	築館
7/7（日）	築館朝市	築館	7/21（日）	第36回みちのく神楽大会	築館
7/11（木） ～12（金）	栗原“もってけ”市	仙台市	7/21（日）	源義経公生誕854年祭	栗駒
7/14（日）	くりでん乗車会	若柳	7/27（土） ～28（日）	2013くりこま山車まつり	栗駒

◆8月イベント一覧

日にち	イベント名	地域	日にち	イベント名	地域
8/1（木） ～31（土）	伊豆沼・内沼はすまつり	若柳 築館	8/14（水）	うぐいすの里夏祭り	鶯沢
8/3（土）	2013しづはた姫コンテスト	築館	8/14（水）	せみね夏まつり	瀬峰
8/3（土） ～4（日）	つきだて七夕まつり	築館	8/15（木）	栗駒花火大会	栗駒
8/4（日）	金成夏まつり	金成	8/15（木）	栗駒ふるさとまつり	栗駒
8/11（日）	くりでん乗車会	若柳	8/16（金）	若柳夏祭り流灯花火大会	若柳
8/14（水）	水車まつり	志波姫	中旬	細倉マインパークまつり	鶯沢
8/14（水）	一迫夏まつり花火大会	一迫			

◆長期開催イベント

日にち	イベント名	地域
4/21（日） ～10/20（日）	「愛思考」木彫刻家伊藤光治郎展	一迫
6/21（金） ～7/10（水）	第31回山王史跡公園あやめ祭り	一迫
6/21（金） ～7/31（水）	南くりこま高原一迫ゆり園開園	一迫
7/20（土） ～9/1（日）	カンテラ祭り	鶯沢



■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel：0228-22-2195

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

(平成 25 年 4 月 20 日～6 月 21 日)

農業振興部・林業振興部

4 月 20 日から 6 月 21 日までの間に農林産物 38 点を検査し、食品の基準値（100 ベクレル/kg）以下であることを確認しましたので、安心してお召し上がりください。

なお、山菜では、くさそてつ（こごみ）、たけのこ、こしあぶらが平成 24 年以降、現在も出荷制限されており、出荷制限解除に向けた検査を続けています。たけのこは、モウソウタケは発生が終了しましたが、カラダケ（マダケ）等が発生する時期となりました。生産者の皆様には、検査に使用するカラダケの検体（1kg）確保にご協力をお願いします。

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの（4 月～6 月検査結果）

農産物			
品名	点数	施設	露地
きくいも	1	—	◎
キャベツ	4	—	◎
きゅうり	2	◎	—
じゃがいも	1	—	◎
そらまめ	1	—	◎
たまねぎ	2	—	◎
大根	4	—	◎
チンゲンサイ	1	◎	—
にら	1	—	◎
にんにくの芽	1	—	◎
白菜	2	—	◎
ブロッコリー	1	—	◎
ほうれんそう	2	—	◎
レタス	1	—	◎

◎：基準値以下 —：検査未実施

林産物				
品名	点数	施設	露地	野生
あいこ	1	—	—	◎
うど	1	—	—	◎
うるい	1	—	—	◎
みず(うわばみそう)	1	—	—	◎
サク(エソニユウ)	1	—	—	◎
しどけ	1	—	—	◎
たらの芽	2	—	—	◎
ふき	4	◎	◎	◎
わらび	2	—	◎	◎

※放射性セシウム濃度基準値

食品群	基準値(1kg あたり)
飲料水	10 ベクレル
乳児用食品	50 ベクレル
牛乳	50 ベクレル
一般食品	100 ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP をご覧ください。

(http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html)

■お問い合わせ

農業振興部先進技術班 Tel：0228-22-9437（農産物について）

林業振興部林業振興班 Tel：0228022-2381（林産物について）

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel：0228-22-2195(直通) Fax：0228-22-6284

E-mail：nk-khsinbk@pref.miyagi.jp

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号（第 9 号）は 9 月 1 日発行予定です。